

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	上村しらびそ高原観光事業	会計	しらびそ	事業No.	619	施策順No.	11-072	
		事業種別	政策・その他	予算科目	2-1-1-10-1			
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり			課等名	上村自治振興センター			
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動			事業期間	開始	18	終了	22

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	しらびそ高原観光施設						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		施設数	1	1	1	1	1	
	意図	利用者を増加させる						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	利用者数	41943	38627	35977	43000	36838	45000	C
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	宿泊数は増であったが、日帰り客が減少した。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	しらびそ高原観光施設(ハイランドしらびそ)は、上村観光の拠点として整備を進めてきた。現在は、遠山郷のみならず、飯田市や南信州の観光拠点として、中京圏を中心に全国各地から観光客が入り込んでいる。事業概要としては、宿泊施設部分の管理運営、日帰り客対応を中心とした軽食コーナーの管理運営、売店の管理運営が主たる内容となる		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 しらびそ高原観光施設の管理・運営 (1) 平成22年度の営業日 4月18日から11月14日 (2) 総利用客数目標 43000人 2 誘客活動 (1) エージェント・実業団への誘客営業 (2) ブログからの配信 (3) テレビ局とタイアップした新たな誘客事業の実施【新】 (4) 短大と連携した新メニューづくり【新】 (5) しらびそ高原オリジナルキャラクターの事業展開【新】 3 施設大規模改修 3階客室4室新設、2階客室2室改修 ※観光課予算	1(1)営業日数 (2)利用客数 2(1)誘客活動回数 (2)ブログ閲覧数 (3)新たな誘客事業数 (4)新メニュー数 (5)製品数 3 新設改修客室数	1(1) 211日 (2) 36,838人 2(1) 4回 (2) 323,000回 (3) 1 (4) 1 (5) 2 3 6室
23年度実施計画	指定管理を行うことにより、本事業は廃止する。		

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他	71,100	61,805	0		
	一般財源	8,000	10,725	0		
計(A)	79,100	72,530	0			
正規職員所要時間						
臨時職員等所要時間						
人件費計(B)		0				
トータルコスト A+B		72,530				

特定財源: 営業収入

4 事業に対する市民や議会の意見

しらびそ高原観光事業に関する誘客活動や経営改善策を求められている(議会からの意見)
---

**5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】**

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

**6 前期4年間の取組評価(総括)**

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	事業者等が出荷額等を高める活動をする	施策の成果指標又はムツ指標	既存事業者の消費額(観光) 飯田下伊那 H15 141億円→H23 159億円
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	・しらびそ高原のPRをすることにより、上村観光の拠点として市財政の安定を図り、地域産業振興につながっている。		
	後期に向けた課題	・上村振興公社を設立して指定管理するが、経営の安定化を図るため指導する必要がある。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	・誘客活動として、エージェン等への営業活動、ブログからの配信、テレビ局とのタイアップした新たな誘客、短大と連携した新メニューづくり、施設大規模改修、オリジナルキャラクターの事業展開等実施した。		
	後期に向けた課題	・上村振興公社と連携して、引き続き誘客活動と情報提供をしていく必要がある。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	・経営分析に基づく課題点を抽出し、人件費・食材費・業務委託費の大幅削減をした。		
	後期に向けた課題	・振興公社の経営安定のため、指導していく必要がある。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	・施設利用者の負担である施設利用料についてH21に見直しを行った。		
	後期に向けた課題	・施設利用者の負担である施設利用料について公社と協議し見直しを行う必要がある。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	①主体は施設利用者でアンケート等をとり改善を図ってきた。 ②施設改修、新メニューづくり等を実施した。 ③指定管理主体として上村振興公社が設立された。		
	後期に向けた課題	・施設利用者を増やすため、遠山郷が一体となった観光誘客活動を検討する。		
全体を通じて	4年間の振り返り	・コストの削減と、誘客活動により、21年度は市の財政支援なしで営業収支は黒字となった。23年度からは上村振興公社を設立し指定管理となった。		
	後期に向けた課題	・振興公社の経営安定のため、指導していく必要がある。		

**7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認**

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ある	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

**8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画**

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	--	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	--